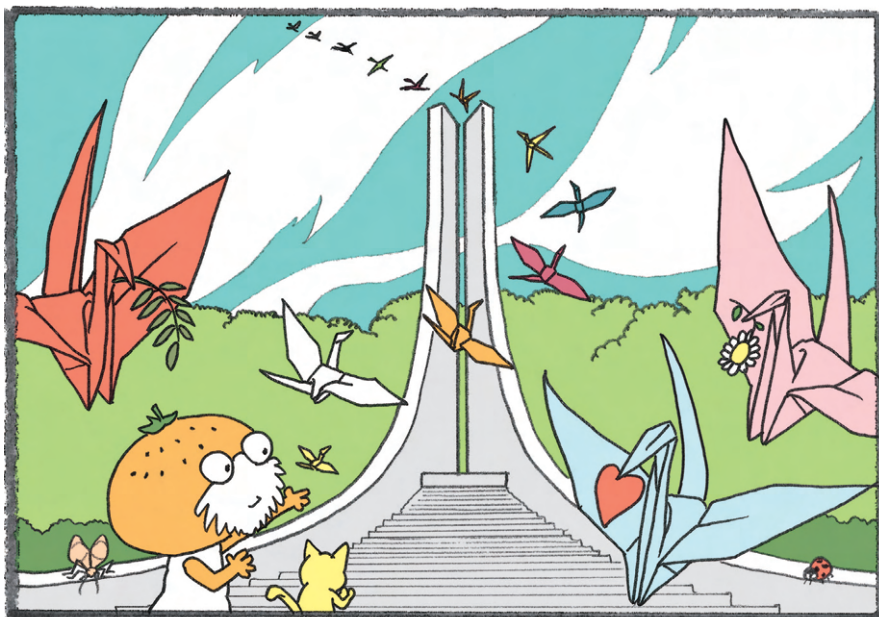




絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥関心のあった記事⑦感想などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり11月号に掲載します。

締切 9月15日(消印有効)

7月号当選者

大竹 正彦(形原町)

徳永 恵(水竹町)

細川 富子(三谷町)

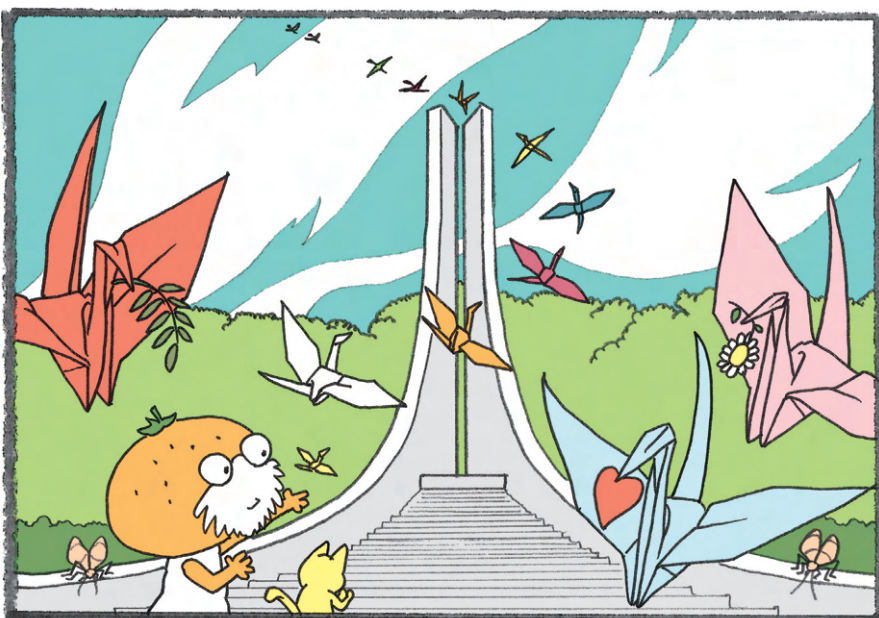
松井美奈男(大塚町)

森田 富枝(水竹町)

(50音順・敬称略)



画:とうふねこ座
市川雅子



7月号の答え



平和を祈り、合掌

中央公園にある、戦没者慰霊平和塔。約50年前に、戦争で亡くなった人を慰霊し、平和への願いを込めて建てられました。左右の大理石張りの塔が天に向かって伸びるデザインが特徴的です。

「変わった形の塔にやあ」

「合掌する両手をイメージしているんじゃないよ。平和への祈りを表しておつてな」

「にやーるほど!確かに!言われてみればそう見える!僕もお祈りしておこう。あ、テントウムシだ。テントウムシもお祈りに来たのかな」

「テントウムシは太陽に向かって飛ぶ習性から、平和や幸運を表していると言われてるんじゃないよ。これから良いことがたくさん起こるかもしれないの。宝くじでも買っておくか」

「あれ?みかん仙人見て!何かが空を飛んでいるよ」

「おや、あれは千羽鶴じゃないか。平和の象徴であるオリーブやデイジーをくわえて、みんなの想いを乗せて飛んでいくのじゃなあ。ほれ、ワシの折った鶴、お前さんも空たかーく飛んでいけ。宝くじも当たってほしいけど、何よりも世界が平和になることが一番じゃ。世界から災いや争いがなくなりますように...」